

With コロナ社会の
国際課題を考える

同志社大学は「ポストコロナの新しい社会に向けて何を提言し、何を成すべきか」をテーマに掲げ、2020年7月より、COVID-19 Research Project を実施してまいりました。第4回シンポジウムは ALL Doshisha で取り組んだ77のプロジェクトの中から、グローバル・イシューに関するテーマをとりあげ、成果の発信を行います。With コロナ社会の国際課題について皆様と共に考えたいと思います。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

開催日

2021年

10/26 火

時間

14:30~16:30

お申込み
フォーム<https://kikou.doshisha.ac.jp/event/form/46>

プログラム

14:30 開会挨拶 研究開発推進機構長 塚越 一彦

14:40

講演
1火葬か土葬かーコロナ時代における
疫学的公共善と宗教的自由の両立

グローバル・スタディーズ研究科 教授 中西 久枝

15:05

講演
2イスラーム世界における
新型コロナウイルス感染症に対するレジリエンス

グローバル・スタディーズ研究科 教授 内藤 正典

15:30

講演
3地域協力機関のCOVID-19の対策と
ポスト・コロナにおける国際協力のあり方について

グローバル地域文化学部 准教授 アイスン ウヤル

15:55

講演
4コロナウイルス流行により生じる世界の
アジア人・アジア系に対するヘイトに関する研究

グローバル地域文化学部 教授 和泉 真澄

16:20 まとめ 閉会挨拶 国際連携推進機構長 新 茂之